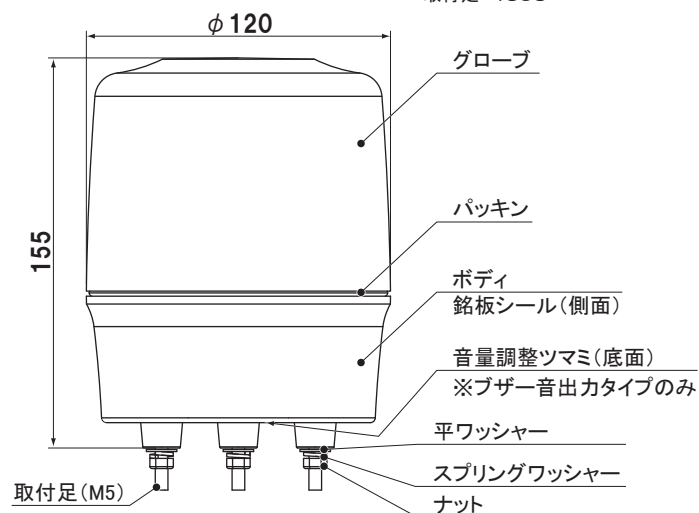


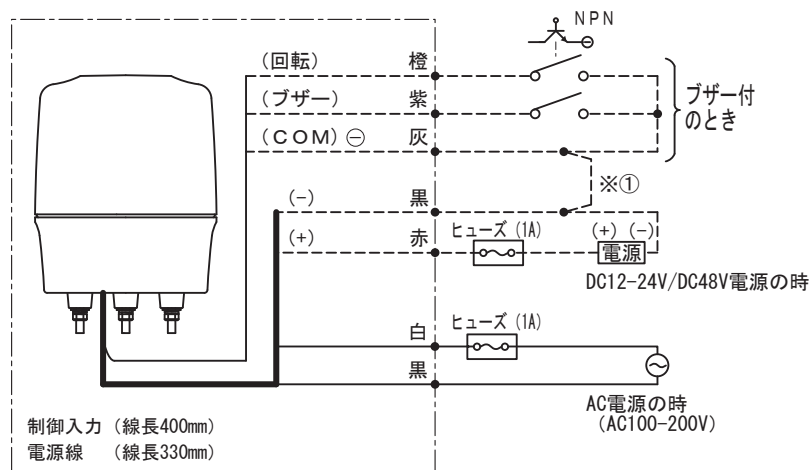
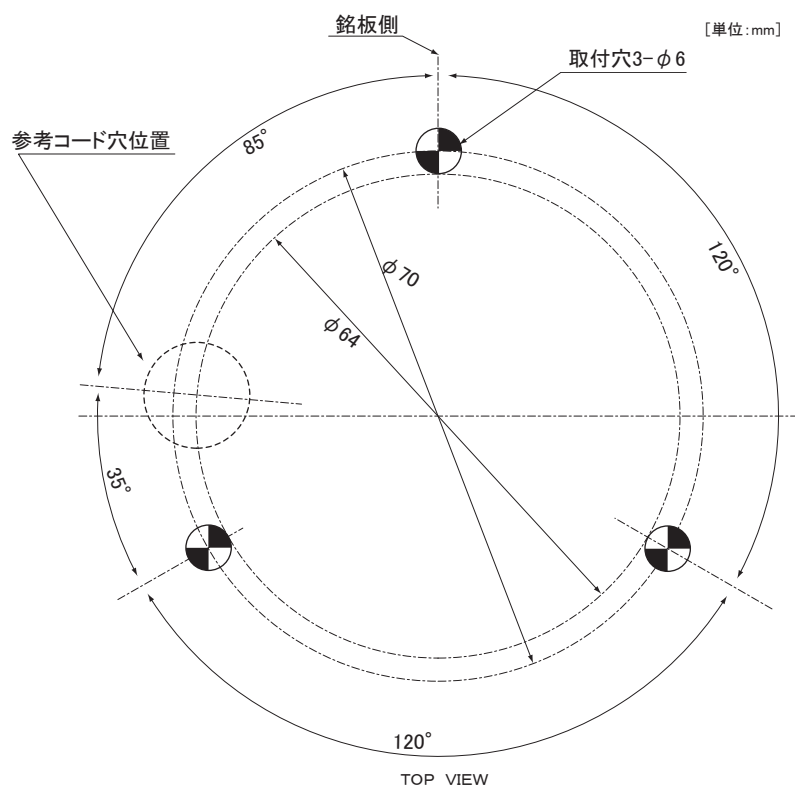
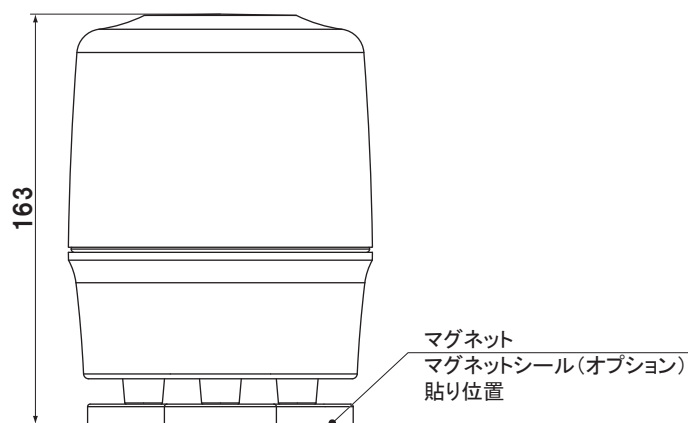
【直付け(3点留め)仕様】

ボディ :ABS樹脂
グローブ :アクリル樹脂
取付足 :SUS



【マグネット仕様(受注対応品)】

[単位:mm]



<電源線>

定格電圧	線種	線長
DC12~24V DC48V	UL1015 AWG #20	取出口より 330mm
AC100~200V	VCTF 0.75mm ² × 2芯	

<制御入力線>

型式	線種	線長
Wタイプ・Nタイプ	-	-
Xタイプ・Bタイプ	UL1007 AWG #20	取出口より400mm

■トランジスタ容量

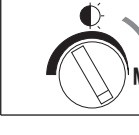
型式	トランジスタオープンコレクタ(NPN)
電流容量	I _c ≥ 10mA
耐電圧	V _c ≥ 10V

- ①ブザー付で且つDC電源の場合は、(-) 黒と(入力COM) 灰は共通にすることができます。
(AC電源では絶対に共通にしないでください。)
- ②制御入力有(ブザー付)は、トランジスタ制御ができます。
- ③電源の入・切で動作させる場合には、100V以上では13A以上、12~48Vでは6A以上の
パワーリレー又はスイッチをご使用ください。
- ④点滅仕様(型式の末尾「/F」)の制御入力有(ブザー付)は、橙(回転)が点滅用の入力線になります。

赤外線センサー部について

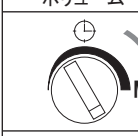
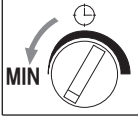
【感度調整ボリューム】

赤外線センサーの感度の調整ができます。
感度とは、センサーが検知物を検知するときの周囲の明るさです。
赤外線センサーの下側のツマミを動かして調整を行ってください。

ボリューム	内容（灰色：出荷時設定）
	夜間、暗い場所で検知用
	昼間・夜間関係なく検知 24時間検知用

【動作時間調整ボリューム】

動作保持時間の調整ができます。
動作保持時間とは、センサーが検知物を検知しなくなってから、製品が動作し続ける時間です。
赤外線センサーの下側のツマミを動かして調整を行ってください。

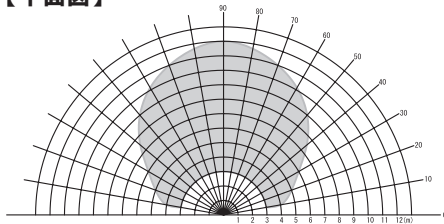
ボリューム	内容（灰色：出荷時設定）
	～8分
	5秒～

■検知エリアについて



温度が高くなると、検知エリアは狭くなります。センサーの検知性能は周囲の環境によって変化しますので、設置前によくご確認ください。

【平面図】



【側面図】



※平面図・側面図共にセンサー水平方向での測定による

センサーに関する注意

- 検知エリアは放射線状になっています。センサーに対して検知物が左右に横切るよう(図1)に取付けてください。検知物がセンサーに対して正面に直進するよう(図2)に近づくと、検知物の状態の変化が少なくなり、検知しない又は感度が鈍くなります。
- 本製品のセンサーは人体検知ではなく、赤外線で温度変化を検知するものです。そのため人体以外の熱源が検知エリアを横切れば検知を行います。小動物、水蒸気、風、雨、雲間からの太陽光の変化で検知する場合があります。また検知エリア内に人が侵入しても、静止していれば検知しません。
- 赤外線はガラスを通しにくい、車両等の窓ガラス越しでの人体検知感度は極端に低下します。車両検知用としては、簡易車両入庫警告灯もご用意しております。詳細はお買い上げ販売店へお問い合わせください。
- センサーのレンズ部に汚れ等が付着すると、透過する赤外線の効率が低下し、検知感度にも影響がでます。
- 検知エリア正面から太陽光やその反射光、車のヘッドライト、外部照明灯などが直接当たる場所には取付けしないでください。誤作動の原因となります。
- 検知エリア内に動く物(カーテン、植物など)がある場所には取付けしないでください。誤作動の原因となります。
- 雷が多発するところには取付けしないでください。誤作動の原因となります。
- 振動が激しい場合、センサーの上下方向がズレて検知エリアが変化します。振動、衝撃のある場所への取付けにはご注意ください。
- センサー付近の明るさ確認して、センサーの感度調整を行ってください。
- 動作保持時間の設定は、センサーが検知をしなくなってから、製品が動作し続ける時間を調整します。製品の動作時間内に再びセンサーが検知すると、そこから再び設定した時間の分、製品の動作が延長されます。
- センサー部の取り外しは行わないでください。
- センサーの検知性能は周囲の環境によって変化しますので、設置前にご確認の上ご使用ください。

図1

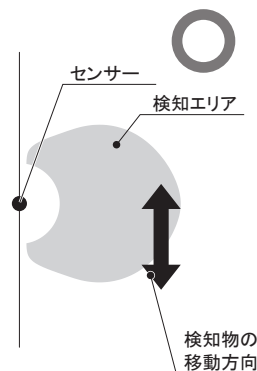


図2

